

① Memory, in its broadest sense, refers to the effects of a person's past on his present.

Memory	refers to	<the effects>of<a person's past>on his present
主	示す・意味する	何を

in its broadest sense

* 「A refer to B.」は「①AはBを参照する、問い合わせる、調べる」と「②AはBを示す・意味する」の2つの意味があることに注意。

* effects of a person's past は「人の過去が影響すること」で主格の of。effect on A が「Aへ及ぼす影響」を考慮すると、「人の過去が現在に及ぼす影響」くらいの意味となる。動詞が on ならば名詞も on であることに注意する。

【全訳例】記憶とは、最も広い意味で、その人の過去が現在に(対して)与える影響であると言える。

② The person is modified, changed by what he does and experiences.

The person	is	modified =changed	by what he { does and experiences
A	=	B	

【全訳例】人は行動や経験によって修正される、つまり変えられる。

③ And these persisting modifications affect what he does and experiences on later occasions; they enable him to accomplish much which would otherwise be impossible.

these persisting modifications	affect	what he { does and experiences	on later occasions
主	影響する	何に	

they	enable	him	to accomplish much
主	可能にする	何が	どの様にするのを

which would otherwise be impossible

* 「persisting = 執拗な、しつこい」から persisting modification は「執拗な修正」

* on later occasions は「後々」くらいの意味。on occasions when ~で「~の場合」。

* ;(セミコロン)は同格。同格のコロンやセミコロンで結ばれる2つの文は、抽象文が右側で具体化されるわけだから、2つ目の文の主語が代名詞であれば、それは高い確率で1つ目の文の主語を指し示す。だから they は前文の主語の modifications。

* enable は「可能にさせる→何に→どの様なことを」で「他人の to」を必要とする。

* would は潜在仮定法。だから otherwise は「そうでなければ」。「そう」の内容を必ず考えるようにすべし。

【全訳例】そして、行動や経験による度重なる修正によって、後々の行動や経験が影響されることになる。つまり、もしそんな修正がなければ実現不可能である様な多くのことを、人はその様な修正のおかげで成し遂げることができるのだ。

④ Now, the accomplishments made possible by the retained effects of past experience are many, varied, and of enormous value to the person.

the accomplishments	are	{ many varied and of enormous value	to the person
A	=	B	

made possible by <the retained effects>of<past experience>

* retained A = 「蓄積されたA、続けて保持されたA」

* effect of A で「Aが影響を与える」だったから、the effects of past experience は「過去の経験が影響を与えること」。あとは retain の意味を加えればよいのだから「過去の経験が ×× して影響を与えること」と発想すれば良い。そこから「過去の経験が続けて影響を与えること」くらいの訳が出てくればOK。

* accomplishment は「達成・成果・実現」の意味の不可算名詞。それが加算名詞化されているのだから、「自転車に乗れること」などの具体的なものを指し示している。でも訳は「可能にされた実現・達成」ではおかしい。これは「モノは人によってされる」の受動態が用いられていることと、名詞表現であることが原因。よって、人主語に変えつつ動詞表現化して「(人が) 実現できたこと・達成できたこと」とすると良くなる。

* and を○で囲み、of enormous value に注目すると「of+抽象名詞=形容詞」だから、many や varied も叙述用法の形容詞だと分かる。

【全訳例】さて、過去の経験が引き続き影響を与えることで実現可能となったことは、数多く多岐にわたり、その人にとって大きな価値を持つ。

⑤ Their value lies in their enabling him to adjust to present circumstances in the light of past events.

Their value	lies	in their enabling him to adjust to present circumstances
S	V	in the light of past events

* in the light of A で「Aに照らして」「Aを考慮して」の意味。

* their も modifications。They enable him to ~を動名詞化したものが their enabling him to ~。

【全訳例】行動や経験による修正の持つ価値は、過去の出来事を考慮して現在の状況に自分を順応させることができることにある。

⑥ In a phrase, they enable him to profit by experience.

they	enable	him	to profit
主	可能にする	何が	どの様にするのを

* in a phrase = in a single phrase = in short = 「一言で言えば・要するに」

* they も modifications

* profit = 自「益する、利益を得る、役に立つ、ためになる、得をする」

【全訳例】要するに、行動や経験による修正はその人の役に立つことができるのだ。